

## 2020年自転車生産・輸出入状況

2020年の自転車生産・輸出入状況は、生産台数が前年比1.8%減、輸入台数が同1.1%増となり、国内向け数量(生産台数+輸入台数)は同0.8%増となっている。年間の国内向け数量は、過去5年では2016年の779万台から、2017年の767万台、2018年の704万台と3年間継続して減少した後、2019年の712万台、2020年の718万台と2年連続で前年を上回った。輸出は殆どが中古車で、前年比5.7%減の293万台となった。

販売面では、当協会が実施している自転車国内販売動向調査結果によれば、2020年に1店舗当たり平均総販売台数が前年を上回った月は2月・3月・5～8月・10月及び12月であった。前年同月比で最も増加したのは6月で、特別定額給付金交付及びキャッシュレスポイント還元最終月による需要があったものと思われる。その6月の自転車国内販売動向調査月報には調査対象自転車小売店から、「過去最高の売上、利益だった」、「給付金で電動アシスト車を購入されるお客さんが多かった」、「給付金の影響か、幼児車や子供車の注文が増えた」、「子供車、電動アシスト車、クロスバイク、ロードバイクなど、激しく動いた」といったコメントが寄せられている。

### 1. 生産

2020年の自転車生産については、台数は87万台で前年比1.8%(15,489台)減となり、金額は616億円で同8.8%(50億円)増となった。

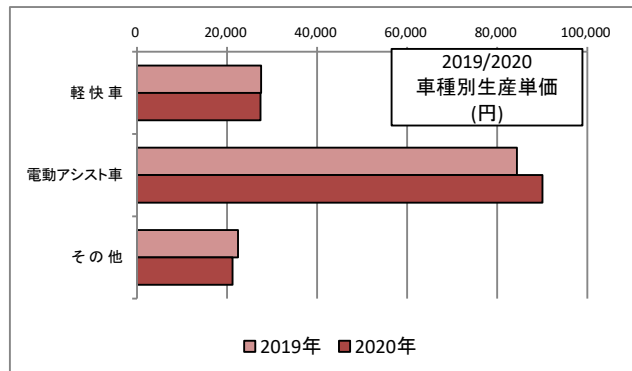
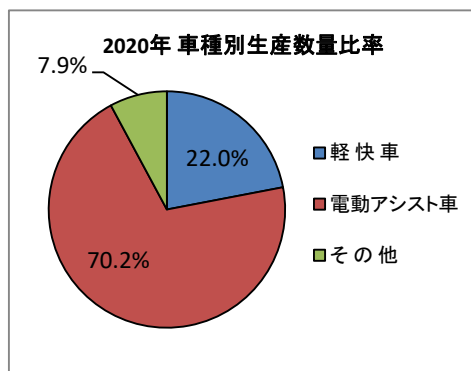
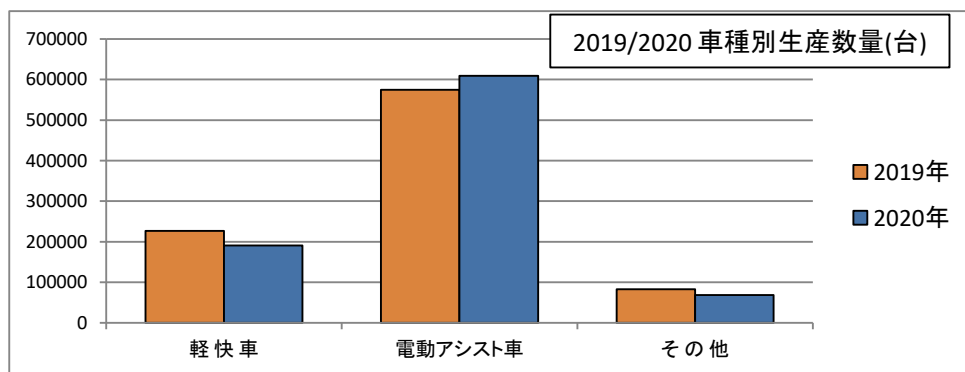
車種別台数は、軽快車が前年比15.8%(35,800台)減、その他が前年比17.6%(14,582台)減となった一方で、電動アシスト車は同6.1%(34,893台)増となっている。

平均単価は、軽快車が27,446円(前年比114円下落)、電動アシスト車が90,053円(5,698円上昇)、その他は21,233円(1,216円下落)となっている。

#### 【車種別生産】

[単位:数量=台、金額=千円、単価=円]

車種	2020年			前年比		2019年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
軽快車	190,943	5,240,627	27,446	84.2%	83.9%	226,743	6,249,062	27,560
電動アシスト車	609,430	54,881,096	90,053	106.1%	113.2%	574,537	48,465,266	84,355
その他	68,216	1,448,415	21,233	82.4%	77.9%	82,798	1,858,767	22,449
合計	868,589	61,570,138	70,885	98.2%	108.8%	884,078	56,573,095	63,991

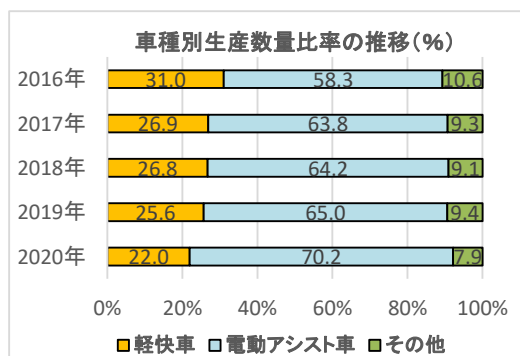


【車種別生産数量の推移(台)】

年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
2016年	291,545	547,593	99,887	939,025
2017年	239,837	568,025	82,988	890,850
2018年	230,049	551,920	77,881	859,850
2019年	226,743	574,537	82,798	884,078
2020年	190,943	609,430	68,216	868,589

【車種別生産数量比率の推移(%)】

年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
2016年	31.0	58.3	10.6	100.0
2017年	26.9	63.8	9.3	100.0
2018年	26.8	64.2	9.1	100.0
2019年	25.6	65.0	9.4	100.0
2020年	22.0	70.2	7.9	100.0



## 2. 輸出

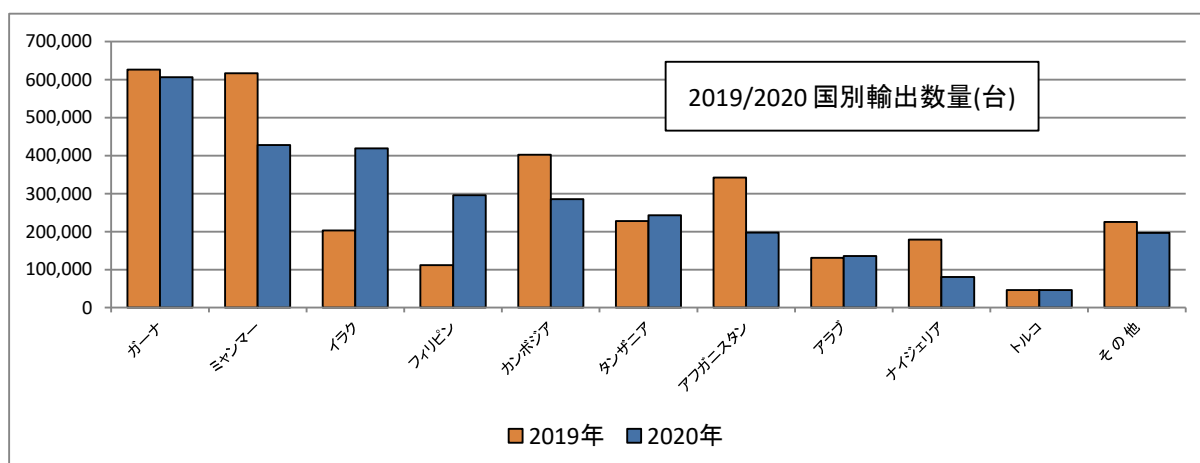
2020年の自転車輸出について、台数は293万台で、前年比5.7%(178,064台)減、金額は51億円で同5.2%(2億8千万円)減となった。平均単価や輸出相手国からわかるように輸出自転車のほとんどは日本で使用された中古自転車であると思われる。

国・地域別では、ガーナ(61万台)、ミャンマー(43万台)、イラク(42万台)が上位を占めている。前年に対しては、フィリピン(164.6%増)、イラク(106.6%増)などが増加を示している一方、ナイジェリア(55.2%減)、アフガニスタン(43.3%減)、ミャンマー(30.7%減)などは減少している。地域別では、ミャンマーやカンボジアなどのアジア地域(184万台)が62.9%、ガーナやタンザニアなどのアフリカ地域(103万台)が35.1%で、この両地域で輸出全体の98.0%を占めている。

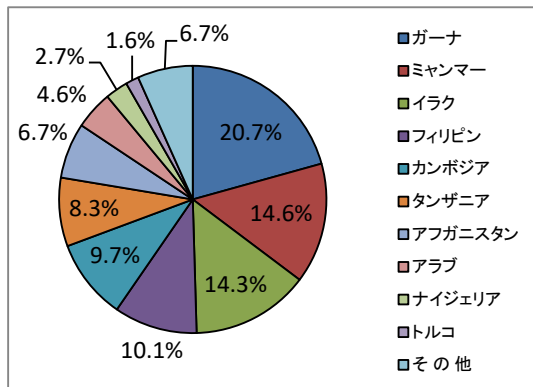
【国・地域別輸出】

[単位:数量=台、金額=千円、単価=円]

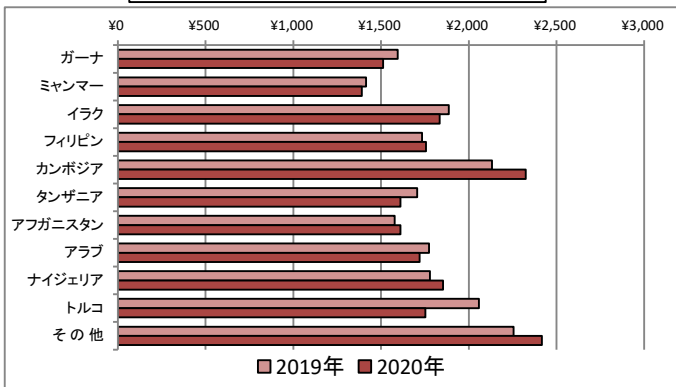
国・地域名	2020年			前年比		2019年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
ガーナ	606,431	917,283	1,513	96.9%	91.9%	625,837	998,419	1,595
ミャンマー	427,464	594,102	1,390	69.3%	68.1%	616,501	872,576	1,415
イラク	418,524	767,655	1,834	206.6%	200.8%	202,578	382,220	1,887
フィリピン	295,327	518,694	1,756	264.6%	268.0%	111,616	193,523	1,734
カンボジア	284,911	662,396	2,325	70.8%	77.2%	402,237	858,158	2,133
タンザニア	243,228	391,666	1,610	106.7%	100.7%	227,975	388,811	1,705
アフガニスタン	197,211	317,764	1,611	57.7%	58.9%	342,069	539,753	1,578
アラブ	135,534	233,159	1,720	103.7%	100.6%	130,737	231,882	1,774
ナイジェリア	80,372	148,973	1,854	44.8%	46.7%	179,257	318,978	1,779
トルコ	46,419	81,375	1,753	101.7%	86.6%	45,632	93,942	2,059
その他	196,444	474,944	2,418	87.1%	93.4%	225,490	508,710	2,256
合計	2,931,865	5,108,011	1,742	94.3%	94.8%	3,109,929	5,386,972	1,732



2020年 国・地域別輸出数量比率



2019/2020 国・地域別輸出単価



### 3. 輸入

2020年の、駆動原動機として電動機を有するモーターサイクルを除く自転車輸入については、台数は631万台で、前年比1.1%(7万台)増となり、金額は691億円で、同3.8%(27億円)減となった。

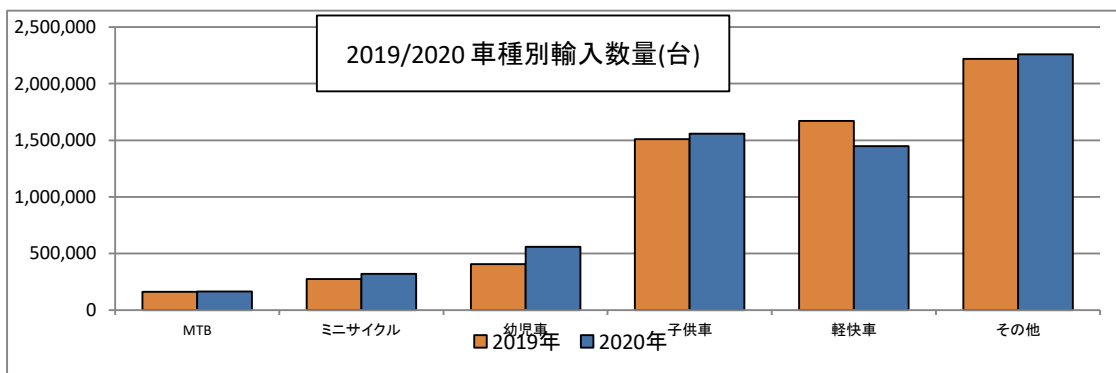
車種別では、MTB(台数で前年比2.6%増)、ミニサイクル(16.7%増)、幼児車(37.8%増)、子供車(3.2%増)、スポーツ車を含むその他(1.9%増)が増加した一方で、軽快車(13.4%減)は減少した。

平均単価は、MTB16,078円(前年比1,039円下落)、ミニサイクルは11,302円(1,211円下落)、幼児車6,951円(324円下落)、子供車8,555円(392円下落)、その他14,087円(956円下落)とそれぞれ下落したのに対し、軽快車は9,510円(52円上昇)と僅かに上昇している。

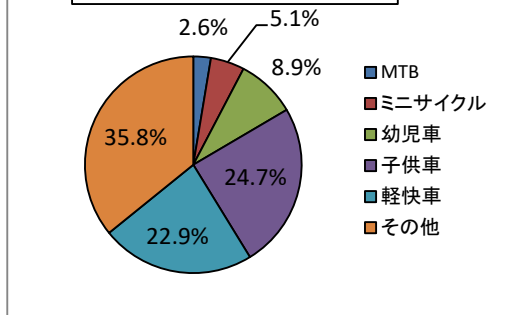
【車種別輸入】

[単位: 数量=台、金額=千円、単価=円]

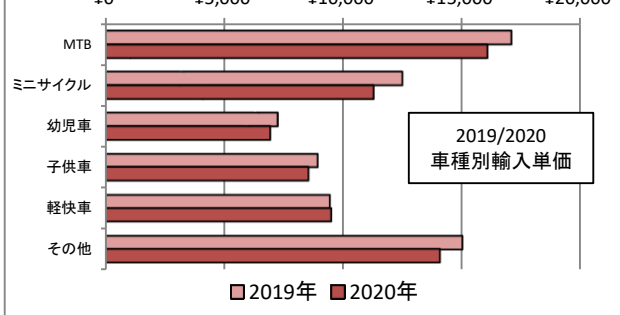
車種	2020年			前年比		2019年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
MTB	165,124	2,654,834	16,078	102.6%	96.3%	160,977	2,755,409	17,117
ミニサイクル	319,141	3,607,062	11,302	116.7%	105.4%	273,416	3,421,303	12,513
幼児車	558,930	3,885,351	6,951	137.8%	131.6%	405,711	2,951,477	7,275
子供車	1,558,542	13,332,912	8,555	103.2%	98.6%	1,510,586	13,515,879	8,947
軽快車	1,447,190	13,762,466	9,510	86.6%	87.1%	1,670,668	15,801,881	9,458
その他	2,260,042	31,836,777	14,087	101.9%	95.4%	2,218,363	33,371,719	15,043
合計	6,308,969	69,079,402	10,949	101.1%	96.2%	6,239,721	71,817,668	11,510



2020年 車種別輸入数量比率



2019/2020 車種別輸入単価



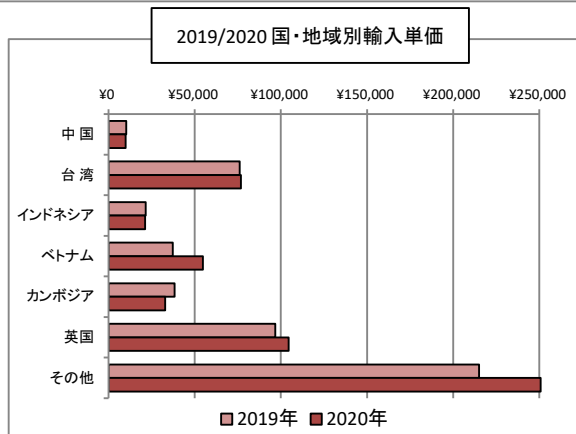
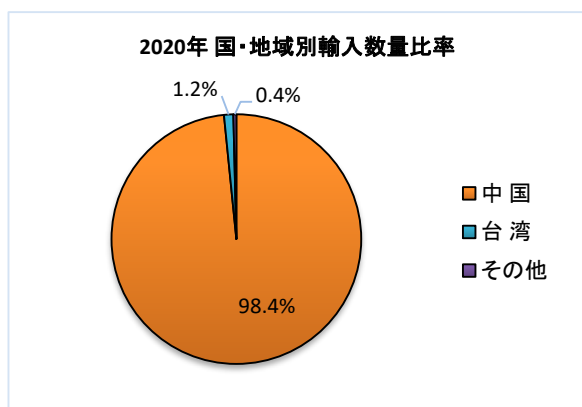
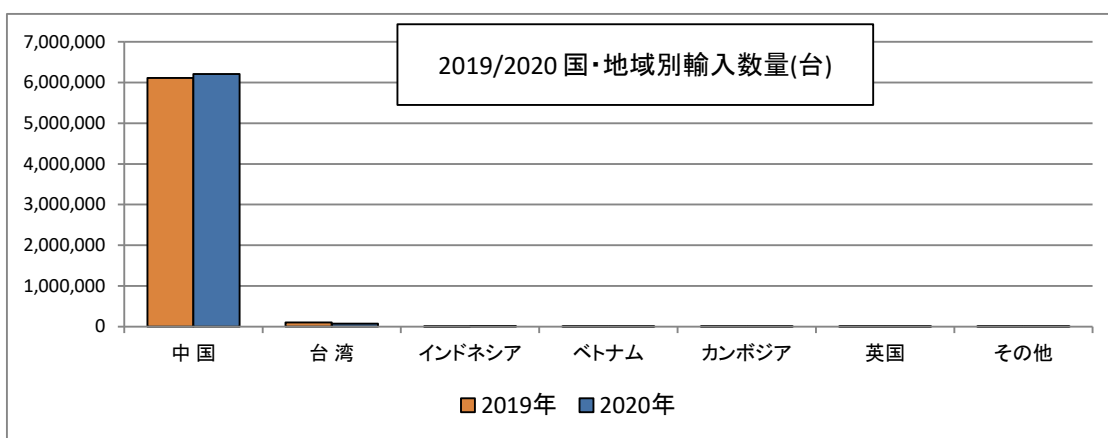
車種別輸入数量比率は上の円グラフのとおりで、その他(スポーツ車を含む)が全体の35.8%、子供車が24.7%、軽快車が22.9%を占めている。

【国・地域別輸入】

[単位:数量=台、金額=千円、単価=円]

国名	2020年			前年比		2019年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
中国	6,208,778	61,636,126	9,927	101.6%	99.0%	6,112,000	62,274,952	10,189
台湾	75,906	5,836,188	76,887	72.6%	73.3%	104,527	7,960,432	76,157
インドネシア	10,409	221,246	21,255	107.1%	105.6%	9,720	209,504	21,554
ベトナム	4,223	231,042	54,710	100.3%	147.1%	4,210	157,055	37,305
カンボジア	3,598	118,186	32,848	143.7%	123.1%	2,503	96,020	38,362
英国	3,295	344,424	104,529	116.7%	126.0%	2,824	273,350	96,795
その他	2,760	692,190	250,793	70.1%	81.8%	3,937	846,355	214,975
合計	6,308,969	69,079,402	10,949	101.1%	96.2%	6,239,721	71,817,668	11,510

国・地域別では、中国からの輸入は、台数は増加したが金額は減少した(台数は前年比1.6%増、金額は同1.0%減)。一方、台湾からの輸入は減少している(台数27.4%減、金額26.7%減)。輸入台数全体に占める割合は中国が98.4%、台湾が1.2%で、この両者を合わせると実に99.6%となっている。



【駆動原動機として電動機を有するモーターサイクルの輸入(参考)】

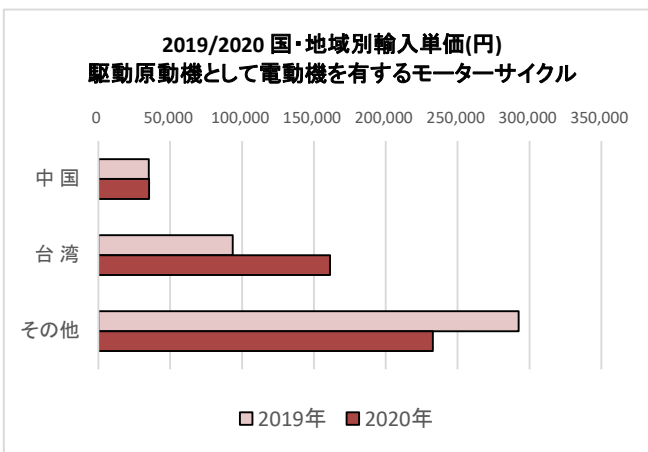
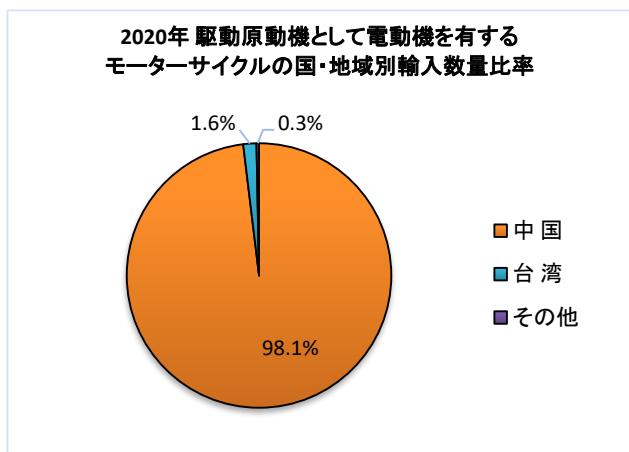
車種	2020年			前年比		2019年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	492,468	18,714,000	38,000	128.4%	133.1%	383,595	14,058,499	36,649

2020年の駆動原動機として電動機を有するモーターサイクルの輸入について、台数は49万台で、前年比28.43%(11万台)増となり、金額は187億円と同33.1%(47億円)増となった。平均単価は38,000円で前年比1,351円上昇した。

【駆動原動機として電動機を有するモーターサイクルの国・地域別輸入(参考)】

国名	2020年			前年比		2019年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
中国	483,033	17,083,591	35,367	128.1%	129.1%	377,081	13,234,416	35,097
台湾	7,919	1,277,511	161,322	145.7%	251.2%	5,435	508,590	93,577
その他	1,516	352,898	232,782	140.5%	111.9%	1,079	315,493	292,394
合計	492,468	18,714,000	38,000	128.4%	133.1%	383,595	14,058,499	36,649

国・地域別では、中国からの輸入は、台数・金額とも増加した(台数は前年比28.1%増、金額は29.1%増)。また、台湾からの輸入も台数・金額とも増加している(台数は45.7%増、金額は151.2%増)。平均単価は中国35,367円(前年比270円上昇)、台湾161,322円(前年比67,745円上昇)となっている。



#### 4. 国内向け数量

2020年の国内向け自転車数量(生産台数+輸入台数)は718万台で、前年比0.8%(5万台)増となり、金額は1,306億円で前年比1.8%(23億円)増となった。

車種別台数を見ると、軽快車(前年比13.7%減)が減少したものの、電動アシスト車(6.1%増)、MTB(2.6%増)、ミニサイクル(16.7%増)、幼児車(37.8%増)、子供車(3.2%増)、スポーツ車を含むその他(1.2%増)はそれぞれ増加している。

平均単価は、軽快車11,600円(22円下落)、MTB16,078円(前年比1,039円下落)、ミニサイクル11,302円(1,211円下落)、幼児車6,951円(324円下落)、子供車8,555円(392円下落)、その他14,296円(1,014円下落)と前年比下落を示した一方で、電動アシスト車は90,053円(5,698円上昇)となり前年比上昇している。

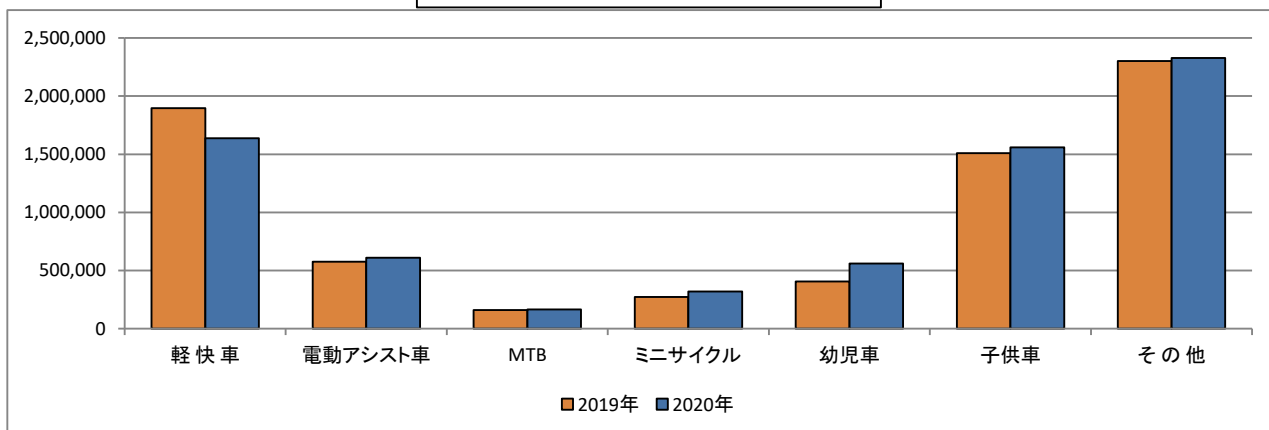
#### 【車種別国内向け数量】

[単位: 数量=台、金額=千円、単価=円]

車種	2020年			前年比		2019年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
軽快車	1,638,133	19,003,093	11,600	86.3%	86.2%	1,897,411	22,050,943	11,622
電動アシスト車	609,430	54,881,096	90,053	106.1%	113.2%	574,537	48,465,266	84,355
MTB	165,124	2,654,834	16,078	102.6%	96.3%	160,977	2,755,409	17,117
ミニサイクル	319,141	3,607,062	11,302	116.7%	105.4%	273,416	3,421,303	12,513
幼児車	558,930	3,885,351	6,951	137.8%	131.6%	405,711	2,951,477	7,275
子供車	1,558,542	13,332,912	8,555	103.2%	98.6%	1,510,586	13,515,879	8,947
その他	2,328,258	33,285,192	14,296	101.2%	94.5%	2,301,161	35,230,486	15,310
合計	7,177,558	130,649,540	18,203	100.8%	101.8%	7,123,799	128,390,763	18,023

※生産と輸入の合計数値をもって国内向け数量としているが、生産統計(経済産業省生産動態統計)と輸入統計(財務省貿易統計)で車種区分が異なるため、ここでは便宜上「軽快車、その他」は生産と輸入の合計数値、「電動アシスト車」は生産数値、「MTB、ミニサイクル、幼児車、子供車」は輸入数値で表している。

2020/2019 車種別国内向け数量(台)

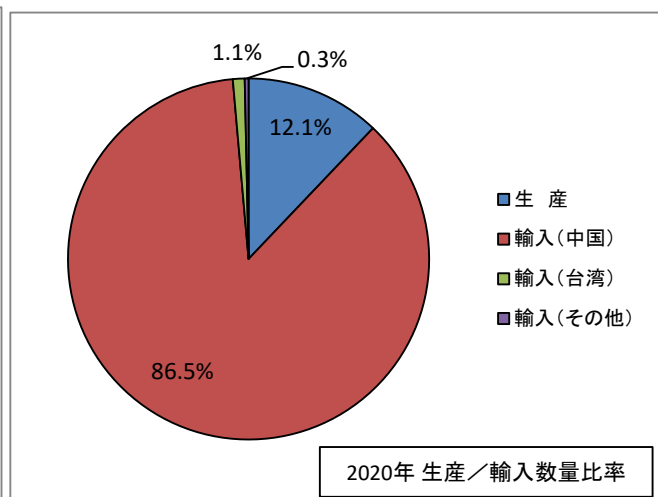
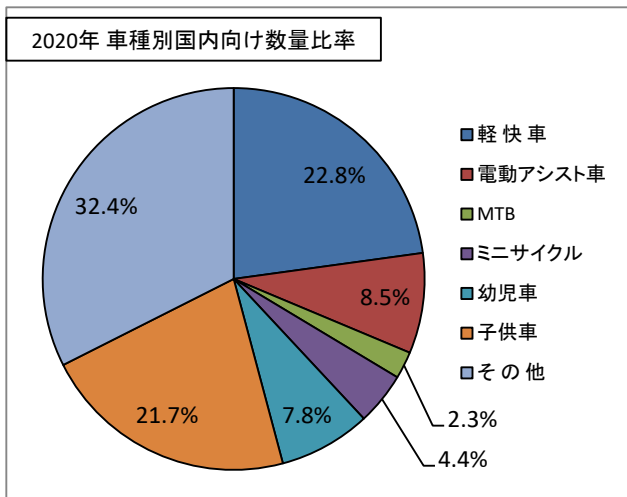


車種別国内向け比率は下左円グラフのとおりで、軽快車が全体の22.8%、電動アシスト車(8.5%)、MTB(2.3%)、ミニサイクル(4.4%)、幼児車(7.8%)、子供車(21.7%)、スポーツ車を含むその他(32.4%)となっている。  
 生産と輸入の内訳は下表及び下右円グラフのとおりで、国内向け数量全体に占める輸入割合は中国だけで86.5%、台湾・その他を含めると87.9%となり、国内向け自転車の9割弱を輸入車が占めている。

【生産／輸入比率】

[単位：数量＝台、金額＝千円、単価＝円]

生産／輸入	2020年			前年比		2019年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
生産	868,589	61,570,138	70,885	98.2%	108.8%	884,078	56,573,095	63,991
輸入(中国)	6,208,778	61,636,126	9,927	101.6%	99.0%	6,112,000	62,274,952	10,189
輸入(台湾)	75,906	5,836,188	76,887	72.6%	73.3%	104,527	7,960,432	76,157
輸入(その他)	24,285	1,607,088	66,176	104.7%	101.6%	23,194	1,582,284	68,220
合計	7,177,558	130,649,540	18,203	100.8%	101.8%	7,123,799	128,390,763	18,023



(出所： 経済産業省・生産動態統計、財務省・貿易統計)

以 上